

## イスラエル戦没者記念日と独立記念日

2011年5月8日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

マティ・ショシャニ

2011年5月10日火曜日、イスラエルは63回目の独立記念日をお祝いします。その喜びは、私たちが享受することのできる独立のために戦闘で亡くなられた方々を覚えることによって削がれますが、ユダヤの伝統では、喜びの機会は悲しみと過去の苦しみの出来事と対となっているのです。例えば、結婚式の時私たちはグラスを割りますが、それは神殿の破壊を覚えるためなのです。

今夜(日曜日)イスラエル人は、私たちの国を守るために戦闘で亡くなった25,310名の兄弟たちを覚えるために2分間起立します。私たちの多くにとって、これは個人的な悲しみの時であり、ほとんどのイスラエル人は友人または家族の一員を亡くしているのです。

月曜日の夕方から、イスラエルの独立記念日を祝い始める際に、私たちは喪から喜びへと移行します。イスラエルの集団としての記憶の中に、死と自由の関係はかなり明確です。私たちは自分の存在の弱さを理解しており、それを失うところまで紙一重となってきたか、それも一度だけでなく何度もそうやってきました。この時私たちの国は一つとなり、私たちが今日生きている命のために多くの人によって支払われた代価を認識するのです。

私たちが立って過去の犠牲を認識することにより、私たちはイスラエルの存在のもろさを再認識するべきでしょう。私たちはすぐさま軍事攻撃を受けることはないかもしれませんが、私たちは世界の心理戦のただ中におり、あなたがたの祈りと支援を必要としています。

---

## オバマとオサマ

アシェル・イントレーター

暗殺の標的となったオサマ・ビンラディンは、(2001年)9月11日の世界貿易センタービルの破壊による3,000名の死に関与し、彼の暗殺は道義的、正義の行使であり、正しく、勇気のあるものでした。また、バラク・オバマ大統領と海軍特殊部隊(SEAL: United States Navy Sea, Air and Land)のチームは、この作戦実行を指導した功績があります。イスラエルにいるすべての人々は好意的に反応しました。いくつか意見があります:

何名かのハマス指導者はビンラディンを殉教者や英雄として称賛しました。アメリカは今や、事実上アルカイダと同等であるハマスに対して譲歩するようイスラエルに強要することは不合理であると判断するのでしょうか。

ビンラディンはパキスタンのある邸宅に住んでいました。アメリカは今や、パキスタンまたはその他のイスラム政府への支援は、必然的にテロリスト活動を援護することに関わることになるかと判断するのでしょうか。

イスラエルは世界的な批判や、その他の確認されたテロリスト指導者の暗殺に対する強い憤りさえ被ってきました。世界の共同体は今や、それに対して他の方法がないことを理解するのでしょうか。

---

## イスラエルの召命集会

今週末、アメリカのカンサスシティの IHOP (国際祈りの家) で行われるイスラエルの召命集会のためにお祈り下さい。スピーカーはデビッド・パウソン師、マイク・ビッケル師、そしてダン・ジャスター師が含まれます。

---

## ペンテコステの祈り

二千年前、聖霊がエルサレムにいた初期メシアニック共同体に注がれました(使徒 2:1-4)。この出来事は神の御国において歴史の転換点となりました。その時ペトロ(シモン・ケファ)は立ち上がって、彼の有名なペンテコステの教えを語りました。彼はこの油注ぎをこう説明しました。「これこそ預言者ヨエルによって語られたものだ。」(使徒 2:16) 伝統的に、これは第一世紀の油注ぎが終わりであり、成就であり、ヨエルによって預言されたことの最終のものであったと解釈されてきました。しかし、この文書を注意深く検証すると、より大いなる成就是まだ来ていないことが示されています。

**神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。- (使徒 2:17)。**

この第一世紀の油注ぎは「すべての人」でもなく、「主の大いなる輝かしい日」が来る前の終わりの時でもありませんでした。(使徒 2:17-21) この油注ぎの経験についての内容は正しかったのですが、その規模やタイミングはまだ成就していません。

つまり、もう一つのペンテコステ、「第二のペンテコステ」が起こるということです。それは世界的な霊的油注ぎです。このリバイバルは再臨直前に起こり、実際に再臨を起こす必要な過程の一部なのです。私たちは「第二のペンテコステは再臨へとつながるものだ」と言うことができます。最初のペンテコステが最初の降臨の直後に起こったように、第二のペンテコステは再臨の直前に起こるでしょう。最初のペンテコステがエルサレムから始まったように、第二のペンテコステもエルサレムから始まるのです(ヨエル 2:32 - 3:2)。

この理由ゆえに私たちは、このまもなく来るべき預言された出来事について祈るため、イスラエルや国際的に「世界的な執り成しの夕べ」を主催致します。私たちはこの一つのテーマについて祈り、断食します。すなわち、終わりの時の世界的なリバイバルのために。この夜通しの祈りのセッションは、イスラエル・メシアニック・ジューイッシュ同盟、地元の牧師、そして地元の祈り家などの協力が伴います。私たちはシャヴオット(ペンテコステ)の前夜、イスラエル時間の6月7日火曜日夜10時～8日水曜日の午前10時まで(訳注:日本時間は6/8(水)朝5時から6/8(水)午後5時まで)、私たちに加わって頂きたく、あなたがたを招待したいと思います。

祈りのグループ、祈りの家、コングリゲーション、そして教会など皆様すべてをイスラエルのメシアニック共同体と共に、この預言的な祈りの活動に加わって頂きたいと存じます。私たちはさらなる組織的な情報や祈りのガイドラインを数週間後にお送り致します。どうかこの日をあなたがたのカレンダーに明記し、あなたがたの友人たちにお知らせ下さいますよう、よろしくお願いいたします。